

目標	具体的な行動のヒント ○：実際に行動してみよう □：自分の考えや他の人の考えを聞いてみよう
1 貧困をなくそう 	○：経済、教育、文化という観点から「貧困」について調べてみよう。 □：どうしたら「貧困」が解決できるのか話し合おう。
2 飢餓をゼロに 	○：キャンプ中の食事作り。食材を無駄なく使うメニューを考え、食事作りに取り組んでみよう。 □：飢餓は世界的な課題です。この飢餓をなくすために何ができるのか話し合ってみよう。
3 すべての人に健康と福祉を 	○：キャンプ中、健康に過ごすために必要な取り組みを実践しよう。 ○□：協力企業プログラム「夢をかえよう！じょうふな体づくり！」に参加しよう。 ○□：協力企業プログラム「無病教室」に参加しよう □：「共生社会」とはどんな社会かを調べ、「共生社会を実現」するためには、私たちどんな取り組みができるかを話し合おう。
4 質の高い教育をみんなに 	□：「なぜ教育が必要か？」について調べたり、考えよう。 □：地域社会で取り組む「教育」にはどんなものがあるか調べてみよう。 □：学校や学校以外で「学んだ」ことについて整理してみよう。 □：スカウト活動で身に付けた技能がキャンプ生活のどの場面で役立っているか、話し合ってみよう。
5 ジェンダー平等を実現しよう 	○：仲間の良いところを知り、認め合い、キャンプ生活を楽しもう。 □：「ジェンダー」による男女差別をなくすこと、一人一人の実力が活かされる世の中を作るために私たちが何ができるか話し合おう。
6 安全な水とトイレを世界中に 	○：節水を意識したキャンプ生活に取組もう。 □：キャンプ生活の中でまた、日々の生活の中で節水について話し合ってみよう。
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	□：電気やガスのない生活を想像してみよう。 □：限りあるエネルギーを有効に使ったり、環境に配慮したエネルギーを作り出す方法について調べてみよう。 □：新しいエネルギーについて調べよう。
8 働きがいも経済成長も 	○：ジャンボリーやスカウト活動を楽しもう！ □：世界の中で同年代の子供たちが働いていることなど、世界の労働問題を知り「人間らしい働き方」について話し合ってみよう。
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	○：キャンプの非日常的な生活で、「インフラ」（※「インフラ」とは、日本の生活を支える基盤のこと。たとえば、公共施設、ガス・水道、道路・橋路、電話・電気など、“それがないと生活がなりたないもの”を指す。）の必要性を知ろう。 ○□：協力企業プログラム「みんなでワクワクを共有しよう！」に参加しよう。 ○□：協力企業プログラム「マンガでわかるサイバーセキュリティ」に参加しよう。 □：インフラが整っていない国や地域の現状を知る。また、災害（暴風雨・地震・洪水、津波・干ばつ）によりインフラを失うことがあることを知り、インフラの必要性について話し合ってみよう。
10 人や国の不平等をなくそう 	○：一人一人の違いを理解し、「いじめ」をしない。 □：セーフ・アロム・ハムの意義やスカウトとしての取り組みについて話し合おう。
11 住み続けられるまちづくりを 	○：キャンプ生活を快適に過ごす工夫をしよう。 □：日常生活での、どうすれば誰もが便利で快適に生活できるかについて考え、話し合おう。
12 つくる責任 つかう責任 	○：プラゴミバスターズに参加しよう。 □：「つかう責任」について、話し合ってみよう。
13 気候変動に具体的な対策を 	○：環境に配慮したキャンプ生活をしよう。 □：身近に起こる「気候変動」について調べてみよう。
14 海の豊かさを守ろう 	○：キャンプ中の汚水や不燃ゴミ、ペットボトルの処理とゴミの分別する。 □：海が現在の汚染状況を知り、自分たちができることを話し合おう。
15 陸の豊かさも守ろう 	○：木材が原料となる製品（割り箸など）の使用を最小限にした生活をする。 ○：環境にダメージを与えないキャンプをしよう。
16 平和と公正をすべての人に 	○：宗教儀礼、スカウトOWNサービス、ピースプログラムなどに参加する。 □：「平和」について話し合おう。
17 パートナーシップで目標を達成しよう 	○：ジャンボリーサマー期間の活動をとらえて、チームワーク、フォローアップを発揮する。 ○：スカウト活動で「パートナーシップ」を実践する。 □：世界的「パートナーシップ」について調べてみよう。